

世界の佐渡と育徳館管弦楽部との感動の出会い。音楽の力でつなぐ真夏の第九。

奇跡のコンサート
〜 歓喜の歌をもう一度〜

第九

ベートーヴェン

指揮

佐渡 裕

福岡県立
育徳館 中学校 管弦楽部
高等学校

北九州グランフィルハーモニー管弦楽団
奇跡のコンサート混声合唱団



©Takashi Iijima

2024.

7.26 [金] 開演18:30
開場17:30

北九州ソレイユホール 北九州南小倉在区六丁目12-3
TEL:093-592-5405

ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 作品125 「合唱付」

■ チケット料金 [税込・全席指定]

S席 4,500円 (学生 3,500円) A席 3,000円 (学生 2,000円)

*学生は小・中・高校生・大学生(U25)です。入場の際、学生証をご提示ください。*未就学児の入場はご遠慮ください。
◎車椅子席(3,000円/限定3席)は、北九州ソレイユホールにてお問い合わせください。

チケット 井筒屋 (TEL093-522-2682)
取り扱い 松田楽器店 (TEL093-541-1886)
ソレイユホール (TEL093-592-5405) 北九州芸術劇場 (TEL093-562-2655)

チケットお問い合わせ 北九州ソレイユホール TEL093-592-5405



ソプラノ アルト テノール バリトン
並河寿美 清水華澄 行天祥晃 大山大輔

4月20日[土] チケット発売開始



北九州グランフィルハーモニー管弦楽団

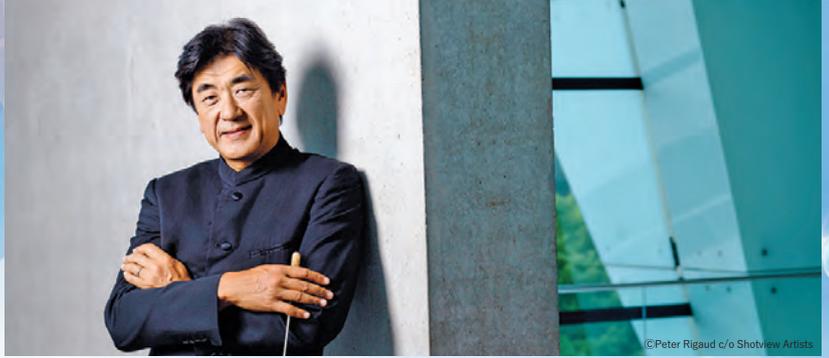
育徳館中学校・高等学校 管弦楽部

主催/奇跡のコンサート実行委員会 共催/北九州ソレイユホール
特別協賛/九州旅客鉄道株式会社 シャボン玉石けん株式会社 第一交通産業株式会社 株式会社ミズノグループ
後援/福岡県教育委員会 北九州市 北九州市教育委員会 協力/みやこ町

クラウドファンディング
実施します
詳しくはHPをご覧ください

奇跡のコンサートとは

福岡県京都郡みやこ町の福岡県立育徳館中学校・高等学校管弦楽部と世界のマエストロ佐渡 裕さんの交流の始まりは2018年5月のこと。生徒たちのひたむきな演奏に感銘を受けた佐渡さんは、以後、「まちに音楽の喜びを伝えて活性化につなげ、高校生が世の中を動かすことを示すことができるなら」と多忙なスケジュールの合間を縫って彼らを定期的に支援。佐渡さんの「一緒に演奏会をしよう」との提案に、生徒たちはプロでも手ごわいベートーヴェンの「第九」を演奏したいと申し入れました。2020年5月には隣市である行橋市の図書館等複合施設開館行事の目玉として、佐渡さんと著名ソリスト、市民公募合唱団による「第九」コンサートが企画されましたが、コロナ禍にて中止。合唱団も日の目を見ることなく解散。翌2021年7月、感染対策の面から曲はチャイコフスキー「交響曲第5番」に変更となりましたが、交流3年の集大成として「奇跡のコンサート」が開催。入場定員が限られ、形も変わるなど悔しい思いをしたものの、大成功を収めました。その後も「この出会いを大事にし、約束を果たしたい」との佐渡さんの言葉もあり、いつか「第九」を街の合唱団とともに演奏したいという彼らの想いは強く、リモートも取り入れて練習を続けてきました。このたび育徳館中学校高等学校管弦楽部の生徒自身が実行委員会を設立。学校や錦陵同窓会をはじめ、心を揺さぶられ賛同する人やまちの協力を携え、先輩たちから受け継いだ意思を胸に、新たな「奇跡のコンサート」実現に向け動き出しました。2024年夏、約束の「第九」を奏で、音楽の力で人やまちをつなぐ「奇跡のコンサート」を実現いたします！



佐渡 裕 Yutaka SADO conductor

故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年プザンソン国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等欧州の一流オーケストラを多数指揮。現在オーストリアのトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督、兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)など。2023年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



並河寿美
Hisami NAMIKAWA

ソプラノ。大阪音楽大学大学院修了。平成30年度文化庁芸術祭大賞、令和元年度兵庫県文化賞など多数受賞。『蝶々夫人』『トスカ』など題名役で活躍。大阪音楽大学特任准教授。二期会会員。



清水華澄
Kasumi SHIMIZU

メゾ・ソプラノ。国立音楽大学大学院、新国立劇場オペラ研修所修了後渡伊。『ドン・カルロ』『エボリ公女』『アイダ』『アムネリス』等で絶賛を博し、国内外の著名指揮者からの信頼も厚い。二期会会員。



行天祥晃
Yoshiaki GYOTEN

テノール。東京藝術大学大学院修了後、渡伊。ヴェルディ『オベルト』日本初演に携わる他CM出演など華々しい活躍を続けている。大分県立芸術文化短期大学教授。大分二期会理事長。二期会会員。



大山大輔
Daisuke OYAMA

バリトン。東京藝術大学首席卒業。“井上道義×野田秀樹”による『フィガロの結婚』フィガロなど、独自性の強い作品で主役として圧倒的な存在感を示している。役者としても演劇作品へ出演するなど幅広く活躍。

育徳館中学校・高等学校 管弦楽部

福岡県立育徳館中学校・高等学校は1758(宝暦8)年小笠原藩が開いた思永齋を学校の始まりとする藩校が母体の九州有数の伝統校。2007年に県内初の中高一貫校に移行した際、「6年あれば弦楽器にも習熟できる」と、ブラスバンド部をオーケストラに衣替えしようとの機運が生まれ、2011年に管弦楽部が誕生した。2017年には全国大会出場するほどに成長。2019年福岡県高等学校総合文化祭器楽・管弦楽部門大会で最優秀賞を受賞し、2020年全国高等学校総合文化祭に出場。本年も福岡県の代表校として出場を成し遂げた。現在、奇跡のコンサートに向け、日々練習に励んでいる。



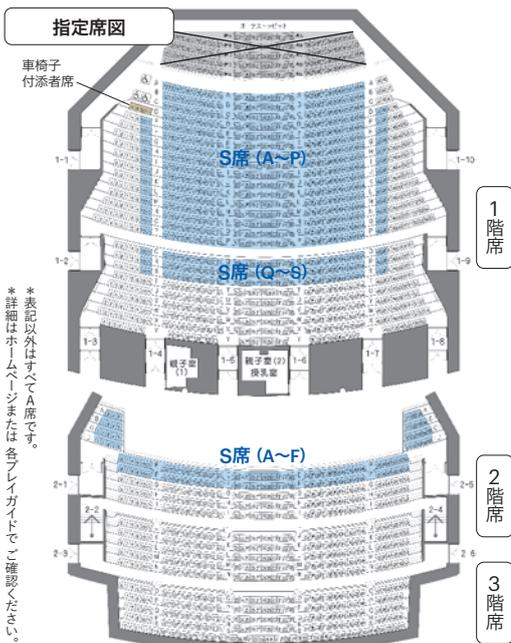
北九州グランフィルハーモニー管弦楽団



北九州市を本拠地とするプロ奏者による初めての常設オーケストラ。2018年設立。レパートリー拡充と技術・アンサンブルの向上に努め、グランフィルの名に相応しい充実した演奏活動を目指す。また、市民に愛され親しまれる、地域に根差した団体であることを大きな目標に掲げている。

奇跡のコンサート混声合唱団 特別指導/矢澤定明、清原浩斗

奇跡のコンサートのために集まる総勢250名からなる市民合唱団。育徳館の学生や職員・保護者、錦陵同窓会、また地元みやこ町をはじめ、行橋市や北九州市など近隣都市圏の多様な方々が音楽を通じてつながり、欢喜の歌をからだいばい表現するべく、練習に励む。



お問い合わせ

奇跡のコンサート実行委員会事務局

<http://kiseki-concert.com>
Mail : info@kiseki-concert.com
FAX.093-592-7027

QRコードからも
アクセスできます▶



*メール・FAXともに、必ず連絡のとれるご連絡先をご記入ください。
また、メールの受信拒否設定は必ず解除をお願いします。